



昨年十月末開通した紐育のワシントン橋

何十年も前からあつた町と同様に完全に秩序が保たれ、6哩離れたコロラド河からひいた水道あり、電燈あり、下水装置の完備に至つては日本の都會などでは到底見られないものがあると云ふ。新都市だけに都市計畫委員が腕を振つて設計したので、街路は整然とし、官廳街と住宅街は區分され病院あり公會堂あり教會あり刑務所ありと云つた風で大都市としての資格を完備してゐる。然もダム工事にはまだ人が要るので此の都市は今後ますます發展するであらう。

〔朝鮮長津江に三菱が20萬キロ發電計畫〕

リッヂは愈々昨年十月末開通して、世界一吊橋の名譽を獲得したが、米國に於くは既に工事中の桑港ゴールデンゲート橋(4,200呎)あり、又近く架設されんとするニューヨークのナロー橋(徑間5,000呎)の計畫等あり、吊橋の徑間は何處まで可能であるか問題となつたが、専門家の一致した意見によると其限度は最大10,000呎即ち2哩まで、それ以上は技術的には可能だが經濟的には作れないとの事である。

〔橋橋架設工事進捗〕稱される宮崎縣の橋橋は70萬圓を以て飛島組が請負ひ今夏竣工の豫定で着々工事中であつたが、最近著しく工事進捗し既に九分通りの完了を見たので遅くも三月一杯には竣工の見込みとなつた由、同橋は13スパンの鐵筋コンクリートアーチ橋である。

〔六甲越有馬鐵二月鍛力運轉〕鐵の六甲登山鋼索鐵道は伊太利チエリツチ・タソフアニー社製の用機にて昨春來施工されつゝあつたが二月上旬より運轉開始されることとなつた、該ケーブルは我國では珍らしい四車運轉方式で途中停留場で乗換昇降するやうになつて居り、輸送能力を極めて増大する特殊なケーブルであり、同設備に對する原動機としては容量三百馬力の高壓電動機が豫備共二臺施設されてゐる。

〔世界的に珍らしい地下ケーブル〕神戸市摩耶鋼索鐵道では現在の起點より更に灘區箕岡通四丁目百四十七番地地内へ至る延長線を施設することとなつた、而して延長線は地下式に依つて敷設することとなり今回その準備に着手したが、ケーブルカーの

〔アベナイン隧道貫通〕過去十ヶ年にわたり歳月と58,000,000磅の巨費を投じてかれて工事中であつた伊太利アベナイン山脈に貫通するこの隧道は此の程貫通した由である。同隧道は延長約11哩半で複線型では世界最長と稱される。本誌昭和五年六月號に鐵道省三好技師の視察記事あり。

〔フーバーダム一都市を生む〕米國に於てパナマ運河以来の大工事と稱されてゐるフーバーダム即ちカリフォルニアに隣するネバダ州のポールダーダム工事は着々進捗中であるが、其工事場を中心として忽ちのうちに人口20,000を有する都會が出來上り、今までの荒蕪地に大厦高樓が立ち並ぶことになつたと云ふ。勿論この工事に關係する人々及其家族から出來上った云はゞ俄か作りのバラツク都市と人は想像するであらうが、實際は

〔ワシントン橋と吊橋の徑間〕本誌にしばしばその驚異的な工事振りを紹介した北米ニューヨーク州のジョージワシントンブ

地下敷設は世界的に稀とされるものである。

〔具體化した〕多難な計畫の聲
〔各地上水道〕のみに終始した
昭和六年に比して本年は實行の時代として各方面から待期されてゐる水道界は既に實現の域に達してゐるものは全國を通じて五十ヶ所に上りそれに既設水道の擴張計畫を加算すれば殆ど百ヶ所にも及んでゐる。

目下表面的に具體化された計畫ヶ所並に工費額を示さう

新設水道=盛岡市水道(200萬圓)鶴岡市水道(90萬圓)弘前市(90萬圓)福井市(100萬圓)札幌市(200萬圓)静岡市(100萬圓)松山市(80萬圓)山口市(95萬圓)萩町(95萬圓)旭川市(100萬圓)岸和田市(75萬圓)橋岡市(30萬圓)千葉縣成田町(15萬圓)福島縣元宮町(15萬圓)香川縣坂出町 50萬圓)秋田縣本莊町 15萬圓)岩手縣一關町(30萬圓)兵庫縣今津町(20萬圓)鳥根縣平田町(10萬圓)愛媛八幡濱町(30萬圓)兵庫縣加古川町(32萬圓)大分縣龜川町(9萬圓)東京府南葛飾郡五ヶ町村聯合水道(200萬圓)臺南市水道(50萬圓)埼玉水道株式會社(200萬圓)北總水道株式會社(200萬圓)千葉水道株式會社(200萬圓)
擴張計畫=東京市水道第三期擴張(3000萬圓)川崎市(300萬圓)京都市(300萬圓)甲府市(200萬圓)下關市(70萬圓)小倉市(80萬圓)長崎市(20萬圓)奈良市(100萬圓)門司市(200萬圓)吳市(100萬圓)市川町水道(30萬圓)

土木學會定時總會

一月十六日午後3時半より丸ノ

内、帝國鐵道協會講堂に於て土木學會總會が開催された。

那波會長開會を宣し、丹治主事昭和六年度事業報告をなし、牧野主事同會計報告をなし、會員那須章彌氏より二三質問の後、議事は可決され、次いで役員の選舉に移り、投票を終りて、那波會長の講演後、次の當選者を發表された。

投票總數 389 票の中、郵送されしも 358 票、直接投函されしもの 40 票にして

會長當選	名井 九介氏	308票
次點	丹羽 鋤彦氏	41票
副會長當選	大河戸宗治氏	332票
次點	物部 長穂氏	11票
常議員當選	三浦 七郎氏	156票
同	來島 良亮氏	145票
同	覧 城治氏	119票
同	木村 芳人氏	116票
同 次點	竹脇 一郎氏	96票
同 同	大井 上前雄氏	54票
同 同	那須 章彌氏	42票

本年退任さるべき役員は次の如くである。

會長	那波 光雄氏
副會長	貞島健三郎氏
常議員	木津正治氏、谷口三郎氏、橋本敬之氏、平井喜久松氏

留任役員は次の如し

副會長	前川 貫一氏
常議員	池田嘉六氏、生野團六氏、田中九一氏、春木節郎氏

尙ほ今回の投票開票調査責任立會者は次の三氏であつた。

片野文吉氏、田中九一氏、藤井眞透氏。

總會終了後、別室にて晩餐會を催し、安藝杏一博士外五十餘名の會員出席し、新舊役員を囲み土木學會の前途を祝福された。當夜役

員外の卓上演說者は那須章彌氏、西尾銑次郎氏、木村芳人氏、松浦丹四郎氏、野口寅之助氏、中川吉造氏等であつた。

○鐵道省の異動 鐵道省に下の異動があつた。

△池田 嘉六氏	建設局長に。
△黒河内四郎氏	建設局長兼任なりし處池田氏の就任により專任工務局長に。
△倉田 玄二氏	秋田建設事務所長に。
△高井 信一氏	長岡建設事務所長に。
△河西 定雄氏	熊本建設技師の氏に建設局工事課勤務に。
△木村 芳人氏	仙臺鐵道局長に。
△山中 隆吉氏	鐵道監察官に。
△黒田 武定氏	工務局改良課長兼計畫課長に。
△廣瀬 一郎氏	名鐵保線課長兼改良課長に。

東京日本橋南茅場町 振替 東京二三八番	渡邊寛治著 隧道施工法 菊判三二〇頁	權威ある大倉の工學圖書 (無出版目録)
		劇へ期技學宰清時ゐず術理せ水代たる方との隧道的經と法を著道經營同を經者を威方時詳縲が初書面に述とめでにしそ幾あも從てての多る力來遺の看憾あ蓄工注過ならと事いさきゆ最をだれをる新生 大倉書店 四四電一一茅六五場番町 定價 三・八〇 送料二十一錢